

平成 29 年度 7 月 実施

第 7 回

農業簿記検定[®]

3 級 問題

注 意 事 項

トイレなど途中退出後の再入室は認めません。試験開始の合図の前までに済ませてください

- 1 試験監督員の指示があるまで、この問題冊子は開かないようにしてください。
- 2 試験中、下記の使用が認められたもの以外は、すべてカバン等にしまい、机の中又は、足元等指定された場所に置いてください。試験中、使用が認められるものは、次のとおりです。
 - ・筆記具（BまたはHBの黒鉛筆/シャープペンシル）・消しゴム・定規・ラインマーカー
 - ・電卓（基準に適合したものに限る。又は算盤）・時計（通信機能を有するものを除く）
- 3 携帯電話等通信機器を使用することは認めません（時計の代わり又は電卓として使用も不可）。電源を切り、カバン等にしまってください。
- 4 試験監督員の指示に従わない場合、また、周囲に迷惑をかける等、適切な試験の実施に支障を来たす行為を行った場合には、不正受験とみなすことがあります。
- 5 上掲 4 の場合を含み、不正受験と認められた場合には、直ちに退室を命ずることがあります。
- 6 試験時間は、**1 時間 30 分（90 分）**です。試験開始の合図により、試験を始めてください。
- 7 この問題冊子には、**問題 25 問まで掲載**しており、**1 頁から 12 頁まで印刷**しています。試験監督員の指示に従い、頁を調べ、印刷不鮮明や落丁等があれば、挙手をして申し出てください。
- 8 解答は、別途配布した解答用紙（マークシート）に記入（該当番号の塗りつぶし）してください。
- 9 問題の内容に関する質問には、一切応じません。
- 10 退室可能時間は、試験開始後 30 分後から試験終了 10 分前です。
 - ※退出を希望する場合は、必ず挙手をして、試験監督員が解答用紙を確認し回収するまでは、席を立たないでください。一旦退出後の再入室は、認めません。
- 11 試験終了の合図とともに、直ちに、筆記具を置き、解答用紙を裏返してください。
- 12 試験監督員が解答用紙を回収し、受験番号や氏名等の記載内容を確認した後、退室可能を指示するまでは、席を立たないでください。
- 13 この問題冊子及び計算用紙は、持ち帰ることができます。解答用紙は、持ち帰れません。

主催 一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会

監修 一般社団法人 全国農業経営コンサルタント協会

※“農業簿記検定[®]”は、一般社団法人 全国農業経営コンサルタント協会の登録商標です

問題 1 次の文章の（ア）～（エ）にあてはまる語句の組み合わせのうち、正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

農業簿記の目的は、（ア）が生物（植物、動物）を生産して販売する場合に、正しい記帳を行うことにより、正しい（イ）を作成して、（ウ）の経営成績を明らかにすること、（エ）の財政状態を明らかにすることです。

【選択肢】

1. ア. 販売業者 イ. 損益計算書と貸借対照表 ウ. 一定時点 エ. 一定期間
2. ア. 農業者 イ. 損益計算書と貸借対照表 ウ. 一定期間 エ. 一定時点
3. ア. 農業者 イ. 損益計算書と貸借対照表 ウ. 一定時点 エ. 一定期間
4. ア. 食品業者 イ. 合計残高試算表 ウ. 一定期間 エ. 一定時点
5. ア. 農業者 イ. 損益計算書とキャッシュフロー計算書 ウ. 一定期間 エ. 一定時点

問題 2 次の記述のうち、誤っている番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 複式簿記の取引要素にはその性質に応じて8要素ある。
2. 損益計算書の当期純利益と貸借対照表の当期純利益は一致しない。
3. 複式簿記における取引要素の結合関係は借方要素と貸方要素が1対1とは限らないが、借方の金額合計と貸方の金額合計は必ず一致し、これを貸借平均の原理という。
4. 複式簿記は、取引を原因と結果の2つの面からとらえ、必ず借方と貸方の2面において変動する。これを取引の二重性という。
5. 簿記上の取引とは「資産・負債・純資産・収益・費用が増減することがら」のことをいう。

問題 3 渥美農場の取引は以下のとおりである。現金勘定の貸方合計と普通預金勘定の借方合計として正しい金額の番号を一つ選びなさい。

4月2日	現金 2,000,000 円と土地 500,000 円を元入れして経営を開始した。
4月5日	現金 1,500,000 円を J A の普通預金口座に入金した。
4月12日	土壌改良の有機肥料 180,000 円を掛けて購入した。
4月15日	夏キャベツとスイートコーンの苗を 150,000 円で購入し、現金で支払った。
4月23日	J A から設備資金として 1,800,000 円借り入れし、現金で受け取った。
5月15日	中古のトラクター 1,500,000 円と軽トラック 400,000 円を取得し、現金で 1,900,000 円支払った。
6月3日	農薬 70,000 円を現金で購入した。
7月18日	収穫したキャベツとスイートコーンを 410,000 円で販売し、150,000 円を現金で受け取り、残額を掛けとした。
8月20日	掛代金 260,000 円が販売手数料 20,000 円を控除されて普通預金に入金された。
8月31日	事務員に給与として 150,000 円を現金で支払った。

【選択肢】

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 現金（貸方合計）3,770,000 円 | 普通預金（借方合計）1,650,000 円 |
| 2. 現金（貸方合計）3,770,000 円 | 普通預金（借方合計）1,740,000 円 |
| 3. 現金（貸方合計）2,270,000 円 | 普通預金（借方合計）1,890,000 円 |
| 4. 現金（貸方合計）3,700,000 円 | 普通預金（借方合計）1,740,000 円 |
| 5. 現金（貸方合計）3,770,000 円 | 普通預金（借方合計）1,890,000 円 |

問題 4 次の資料に基づいて期末の資産総額がいくらになるか、正しい番号を一つ選びなさい。

〔資料〕

当期の収益総額	5,000,000 円
当期の費用総額	4,200,000 円
期首の純資産	7,500,000 円
期末の負債総額	2,600,000 円

【選択肢】

1. 800,000 円
2. 5,000,000 円
3. 9,100,000 円
4. 10,100,000 円
5. 10,900,000 円

問題 5 次の記述のうち、正しい番号を一つ選びなさい。

秋蒔き小麦を作付し、来年の春の収穫を予定している。この作付けにかかる費用として種苗費 295,000 円、肥料費 780,000 円、農薬費 135,000 円を消費しており、それぞれの費用勘定に計上している。12 月末に決算を迎えた。

【選択肢】

1. 決算にあたり、1,210,000 円を原材料として資産計上した。
2. 決算にあたり、1,210,000 円を農産物として資産計上した。
3. 決算にあたり、1,210,000 円を仕掛品として資産計上した。
4. 決算における修正を行わず、種苗費 295,000 円、肥料費 780,000 円、農薬費 135,000 円を当期の費用とした。
5. 決算にあたり、1,210,000 円を貯蔵品として資産計上した。

問題 6 次の文章の **ア**～**エ** の記述のうち、正しいものが二つある。その記号の組み合わせの番号を一つ選びなさい。

ア. 当期において育成中の繁殖牛の飼育に要した費用は飼料代が 1,860,000 円、家畜薬代が 260,000 円であったため、決算において下記の仕訳を行った。

(借) 育成仮勘定 2,120,000 (貸) 育成費振替高 2,120,000

イ. 畑の造成を行い、代金 700,000 円を現金で支払った。このとき、下記の仕訳を行った。

(借) 土地 700,000 (貸) 現金 700,000

ウ. 前期において育成中の繁殖牛の飼育に要した費用は飼料代が 900,000 円、家畜薬代が 240,000 円であった。当期においてすべて成熟期に達したため、下記の仕訳を行った。

(借) 生物 1,140,000 (貸) 育成費振替高 1,140,000

エ. 前期において育成中の繁殖牛の飼育に要した費用は飼料代が 850,000 円、家畜薬代が 160,000 円であった。当期においてすべて成熟期に達したため、下記の仕訳を行った。

(借) 生物 1,010,000 (貸) 飼料費 850,000
農薬費 160,000

【選択肢】

1. アイ 2. アウ 3. アエ 4. イエ 5. ウエ

問題 7 次の文章の（ア）～（ウ）にあてはまる語句の組み合わせのうち、正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

有形固定資産の取得の後、当該有形固定資産の修繕や改良のために支出を行うことがある。この支出のうち、有形固定資産の価値増加や、耐用年数の延長をもたらすものは（ア）とよばれ（イ）として処理される。一方、価値の増加や耐用年数の延長をもたらさない場合には（ウ）として処理される。

【選択肢】

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 収益的支出 | イ. 当期の収益 | ウ. 資産の増加 |
| 2. ア. 収益的支出 | イ. 当期の収益 | ウ. 当期の費用 |
| 3. ア. 資本的支出 | イ. 資産の増加 | ウ. 当期の収益 |
| 4. ア. 資本的支出 | イ. 資産の増加 | ウ. 当期の費用 |
| 5. ア. 資本的支出 | イ. 当期の費用 | ウ. 資産の増加 |

問題 8 次の文章の（ア）～（ウ）にあてはまる勘定科目の組み合わせのうち、正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

① J Aに対し米 300 俵の出荷を契約し、契約金として 2,500,000 円が普通預金に入金された。

（借） 普通預金 2,500,000 （貸）（ア） 2,500,000

② 先に米を販売したあおぞら商店から納入の際に破損があったとして、20,000 円の値引きを要求された。その金額 20,000 円については、売掛金から差し引くよう求められた。

（借）（イ） 20,000 （貸） 売掛金 20,000

③ シャインマスカットが収穫できたので、例年のように親戚の佐藤さんに 1 箱（5 房入り）を贈答用として送った。この時のシャインマスカットの 1 箱の相場は 10,000 円だった。

（借）（ウ） 10,000 （貸） 果実売上高 10,000

【選択肢】

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 前受金 | イ. 水稻売上高 | ウ. 売掛金 |
| 2. ア. 水稻売上高 | イ. 現金 | ウ. 資本金 |
| 3. ア. 前受金 | イ. 水稻売上高 | ウ. 資本金 |
| 4. ア. 水稻売上高 | イ. 水稻売上高 | ウ. 接待交際費 |
| 5. ア. 前受金 | イ. 現金 | ウ. 接待交際費 |

問題 9 次のア～エの記述のうち誤っているものが二つある。その番号を一つ選びなさい。

ア. 棚田農場は、所有する帳簿価額 120,000 円の農業機械を春田農機具店へ 150,000 円で売却した。代金は当月末に入金予定である。

(借)	売掛金	150,000	(貸)	機械装置	120,000
				固定資産売却益	30,000

イ. にこにこ農場は農業用資材を割安に仕入れるため、太陽商店に対して資材購入前払い（手付金）として 350,000 円を普通預金から振り込み支払った。

(借)	前渡金	350,000	(貸)	普通預金	350,000
-----	-----	---------	-----	------	---------

ウ. 普通預金に J A 出資金に対する配当金 4,800 円が振り込まれた。

(借)	普通預金	4,800	(貸)	出資金	4,800
-----	------	-------	-----	-----	-------

エ. J A ひまわりから農薬 130,000 円を購入し、代金は営農借越から支払った。

(借)	農薬費	130,000	(貸)	短期借入金	130,000
-----	-----	---------	-----	-------	---------

【選択肢】

1. アイ 2. アウ 3. イウ 4. イエ 5. ウエ

問題 10～17

次の〔資料1〕および〔資料2〕に基づき平成28年12月31日現在の残高試算表を作成した場合について、以下の設問（問題10～17）に答えなさい。（決算は年1回、12月31日）

〔資料1〕平成28年1月1日現在の残高試算表

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
現 金	815,000	買 掛 金	1,028,000
普 通 預 金	13,123,000	借 入 金	2,990,000
農 産 物	160,000	資 本 金	25,000,000
建 物	2,560,000		
機 械 装 置	990,000		
車 両 運 搬 具	1,720,000		
器 具 備 品	250,000		
土 地	5,500,000		
出 資 金	300,000		
経 営 安 定 積 立 金	3,600,000		
	29,018,000		29,018,000

〔資料2〕平成28年1月1日から12月31日までにを行った取引

- 1月26日 農具234,000円を購入し、振込手数料500円と合わせ、合計234,500円を普通預金より支払った。
なお、購入した農具は全て1組100,000円未満のものである。
- 1月31日 前年末のJA購買の買掛代金1,028,000円を普通預金より支払った。
- 2月1日 水田転作を支援するための交付金500,000円が普通預金に入金された。
- 2月12日 経営安定対策の積立金として30,000円を普通預金から支払った。
- 3月15日 種苗1,628,000円を購入し代金は掛けとした。
- 4月7日 米出荷契約金4,500,000円が普通預金に振り込まれた。
- 5月30日 農地に対する固定資産税46,000円を現金で支払った。
- 6月24日 農作業に従事する人への賃金は258,000円であった。支払に際し、源泉所得税22,000円を差し引いて普通預金で支払った。
- 7月11日 6月24日に預かった源泉所得税22,000円を、普通預金で支払った。
- 7月29日 水稻共済掛金101,000円が普通預金より支払われ、費用とした。
- 8月3日 肥料892,000円、農薬685,000円を購入し代金は掛けとした。
- 9月24日 収穫した米を19,400,000円で出荷し、販売予約時の契約金4,500,000円が控除され、残金が普通預金に振り込まれた。

- 10月31日 借入金の返済として630,000円、利息として75,000円を普通預金より支払った。
- 11月30日 3月15日の種苗代金を普通預金より全額支払った。
- 12月9日 軍手、作業服等の作業用被服代金35,000円を現金で支払った。
- 12月15日 トラクター3,489,000円を購入し、代金のうち1,489,000円は普通預金より支払い、残額は後日払いとした。

残高試算表

平成28年12月31日

(単位：円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金		買掛金	
普通預金	(ア)	未払金	
農産物		借入金	(オ)
建物		資本金	
機械装置	(イ)	水稻売上高	(カ)
車両運搬具		(キ)	
器具備品			
土地			
出資金			
経営安定積立金	(ウ)		
種苗費			
肥料費			
農薬費			
賃金手当			
作業用衣料費			
農具費	(エ)		
租税公課			
共済掛金			
事務通信費			
支払利息			
	(ク)		(ク)

問題 10 前頁の表中の（ア）に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 25,549,500 2. 25,972,500 3. 27,468,500 4. 27,549,500 5. 32,049,500

問題 11 前頁の表中の（イ）に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 990,000 2. 2,479,000 3. 2,990,000 4. 4,479,000 5. 4,488,000

問題 12 前頁の表中の（ウ）に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 3,360,000 2. 3,600,000 3. 3,630,000 4. 3,701,000 5. 3,731,000

問題 13 前頁の表中の（エ）に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 233,500 2. 234,000 3. 234,500 4. 243,000 5. 324,000

問題 14 前頁の表中の（オ）に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 2,285,000 2. 2,360,000 3. 2,435,000 4. 2,990,000 5. 3,620,000

問題 15 前頁の表中の（カ）に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 4,500,000 2. 14,900,000 3. 15,400,000 4. 19,400,000 5. 19,900,000

問題 16 前頁の表中の（キ）に記入する勘定科目として、最も適切な勘定科目の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 価格補填収入 2. 作業受託収入 3. 作付助成収入 4. 作付助成原価 5. 作業受託原価

問題 17 前頁の表中の（ク）に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 21,729,000 2. 50,378,000 3. 50,837,000 4. 50,837,500 5. 55,337,000

問題 18～25

次の期末修正事項に基づき精算表を作成した場合について、以下の設問（問題 18～25）に答えなさい。（決算は年 1 回、12 月 31 日）

期末修正事項

- 1) 期末における農産物の実地棚卸高は、270,000 円であった。
- 2) 期末における原材料の実地棚卸高は、98,000 円であった。
- 3) 売掛金の期末残高に対し、5.5%の貸倒れを見積もる。なお、洗替法により処理する。
- 4) 減価償却を税法の定めに従い次のとおり行う。

種 類	取得価額	耐用年数	償却方法	償却率	期首の減価 償却累計額
建 物	900,000 円	19 年	定額法	0.053	238,500 円
機 械 装 置	2,000,000 円	7 年	定額法	0.143	715,000 円
車 両 運 搬 具	450,000 円	4 年	定額法	0.250	187,500 円

- 5) 賃借料のうち 50,000 円は、当期首に当期と来期の 2 年分をまとめて支払ったものである。
- 6) 賃貸料収入の中に、前受した来期分の農機具賃貸料が 30,000 円計上されている。
- 7) 作業小屋の地代 12,000 円が未払いとなっている。
- 8) 雑収入の未収分が 38,000 円 ある。

精 算 表

平成 28 年 12 月 31 日

(単位：円)

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	160,000							
普通預金	1,750,000							
売掛金	260,000							
農産物	290,500						(ア)	
原材料	103,000							
建物	900,000							
機械装置	2,000,000							
車両運搬具	450,000							
土地	1,000,000							
買掛金		559,500						
借入金		3,000,000						
貸倒引当金		11,000						
減価償却累計額		1,141,000						
資本金		1,000,000						
売上高		7,467,000						
受取利息		5,000						
賃貸料収入		150,000				(イ)		
雑収入		312,000						
種苗費	352,500							
肥料費	1,711,000							
農薬費	836,500							
賃金手当	3,240,000							
賃借料	175,000							
支払地代	387,000				(ウ)			
支払利息	30,000							
	13,645,500	13,645,500						
期首農産物棚卸高								
期末農産物棚卸高								
期首材料棚卸高								
期末材料棚卸高						(エ)		
貸倒引当金戻入								
貸倒引当金繰入					(オ)			
減価償却費					(カ)			
前払費用							(キ)	
前受収益								
未払費用								
未収収益								
当期純()					(ク)			

問題 18 (ア) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 20,500 2. 98,000 3. 270,000 4. 290,500 5. 560,500

問題 19 (イ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 30,000 2. 120,000 3. 150,000 4. 158,000 5. 180,000

問題 20 (ウ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 375,000 2. 387,000 3. 390,000 4. 399,000 5. 400,000

問題 21 (エ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 98,000 2. 103,000 3. 172,000 4. 201,000 5. 270,000

問題 22 (オ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 3,300 2. 11,000 3. 13,000 4. 14,300 5. 25,300

問題 23 (カ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 284,439 2. 401,580 3. 446,200 4. 450,200 5. 875,500

問題 24 (キ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 12,000 2. 25,000 3. 30,000 4. 38,000 5. 50,000

問題 25 (ク) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 744,000 2. 748,000 3. 773,500 4. 778,000 5. 792,620